

研究所だより

相良 孝雄

現局面は、「協同組合とは何か」が鋭く問われる情勢である。

1995年ICA原則の定義では、「協同組合は、共同で所有し民主的に管理する事業体を通じて、共通の経済的・社会的・文化的ニーズと願いを満たすために自発的に手を結んだ人々の自治的な組織である。」と定義されている。そして国際協同組合年のスローガンにもなった「協同組合はよりよい社会をめざします」のように、組合員だけが恩恵を受けるのではなく、社会全体をよりよくするためのインフラとして、協同組合自身が役割を果たそうとしている。

しかしJA全中の一般社団法人化、全農の株式会社化などは協同組合の原則の1つである自治を壊し、政府の介入を通じて、国策に翻弄される協同組合の性格が強くなってきている。

個人的な話になるが、私は協同組合が好きだ。それは制度というよりも、理念や考え方、そして何より人の想いに触れたときに改めて協同組合の社会的価値の素晴らしさと人間くさい事業・運動体であると感じるからである。この1か月、多くの方から「協同労働の協同組合」について、以下のような関心を寄せていただいている。

- ・「協同労働のファンでおっかけです。広島市協同労働プラットフォーム事業をみたい。」(市民活動実践者)
- ・「協同組合や非営利協同セクターで連

帯する核となるのは、ワーカーズコープだと思う」(研究者)

- ・「協同労働の働き方に興味がある。働くこととは何かを学生に伝えたい。障がい児の放課後等デイサービスの見学に行きたい」(研究者)
- ・「ワーカーズコープの実践と地域課題、地域住民との議論が噛み合ってきている。協同集会や全国よい仕事研究交流集会などは集会と実践が連結されはじめ、それぞれが自分の言葉で話しながら、働く意欲が高まっている。」(研究者)
- ・「市民で太陽光発電をたちあげるときに、協同労働の協同組合の法制化がされていれば、その法人格を活用したい。」(市民活動実践者)
- ・「ワーカーズコープのある児童館の職場の雰囲気がとてもよく、納得して働けそうです」(保育専門学校学生)

2月28日～31日に開催した「全国よい仕事研究交流集会」では全体会・分科会を含め、ワーカーズコープの現場の実践報告が77本あった中で、その学びを研究者や実践家32名にコメンテーターとして、コメントをいただくことになった。ワーカーズコープで働く仲間自身が実践から協同労働の協同組合とは何かを深める場面となった。

そこで、私自身も「協同労働の協同組合の魅力」を、以下の8点にまとめてみた。

1) まちづくりを仕事おこしで行う。

→地域課題の解決のため、市民が主体となり、仕事をおこす。(コミュニティの自治)

2) 労働者が出資・労働・経営をすること

→労働者自身が働く環境(出資・労働・経営)をつくる。(オルタナティブな働き方)

3) 全国の実績とノウハウ

→業種の多様性と横断性。地域課題を出発点にする実践の強さ

4) 新しい事業、運動を柔軟に展開し、挑戦的に取り組む運動性

→新しい新規事業、運動への挑戦。農業・林業・食・エネルギー等の地域循環型社会とコミュニティの持続可能性の追求

5) 非営利性

→利益の分配を仕事おこしや学習研修に活用するといった、社会的公正制。

6) 経済性

→(指定管理者等)自治体の直営維持が出来ない中での公共事業の受皿となっている。しかし金額は決して、安く出すことが是ではなく、社会的に闘ってい

る運動体であること。(社会福祉財源については社会全体の課題の中で、そこを担いながらも解決をしていく姿勢)

7) よい仕事をする事

→自分たちの仕事を振り返りながら、その価値を自分の言葉で語れる文化があること。そしてそれを組織が担保をしていること。

8) 経済性よりも人を焦点にあてた生き方・働き方

→人の変化・成長を中心に据えて、その人の居場所、働く場所をその人自身が主人公となりつくること。そして協同し、課題解決ができる場をつくること。誰もが就労できる完全就労社会の実現を目指し、自治を価値に置いていること。

上からではなく、「地域の課題とその実践」から「協同組合とは何か」と考えることにこだわりきり、協同労働を通じて「働くこととは何か」「協同することとは何か」を実践家と研究者が共に学びあえるプラットフォームづくりを来年度していきたい。

研究所活動日誌 (2015.2.1 ~ 2.28)

- | | |
|--|---|
| 02/02(月) 厚労省社会福祉推進事業(子ども若者)検討委員会 | 02/12(木) ICA連携セミナー(ICAポーリングリーン会長来日)/本部全組合員会議・本部よい仕事研究交流集会 |
| 02/03(火) 厚労省社会福祉推進事業(ネットワーク)当事者ヒアリング会議/よい仕事研究交流集会実行委員会/朴元淳氏講演(早稲田大学) | 02/16(月) 法制化市民会議・埼玉運営委員会 |
| 02/04(水) 労協連・センター合同常勤5役会議/暮らしと協同の研究所来訪 | 02/17(火) 労協連・第1回「21世紀の社会運動の可能性と展望」研究会 |
| 02/07-08(土-日) これからの子育て教育を考えるフォーラム(大阪府立大) | 02/24-25(火-水) 労協連地域労協リーダー研修 |
| 02/09(月) 全国よい仕事研究交流集会実行委員会 | 02/25(水) 「ICA」ガイダンスノート検討会 |
| 02/10(火) 厚労省社会福祉推進事業(ネットワーク)調査検討委員会/環境省委託研究・地域エネルギーと温暖化講演会 | 02/26(木) 労協連・第2回「21世紀社会運動の可能性と展望」研究会 |
| 02/11(水・祝) 環境省委託研究ST4会議 | 02/27(金) 労協連・第2回「社会連帯経営を学ぶ」学習会 |
| | 02/28(土) 協同・共生社会創造連帯集会(大阪) |
| | 02/28-03/01(土-日) 全国よい仕事研究交流集会2015 |

今後の予定

- | | |
|---|--------------------------------------|
| 03/03(火) 埼玉協同・連帯ネットワーク準備会、和歌山大学山本健慈学長退任シンポジウム | 03/08(日) 協同労働公開サロン(名古屋) |
| 03/05(木) 協同総研事務局会議、ソウル大学ワーカーズコープ視察団訪問 | 03/09(月) 厚労省社会福祉推進事業(子ども若者)最終報告会 |
| 03/06(金) 環境省委託研究・研究成果報告会、モンドラゴンチームアカデミー学生訪問 | 03/20(金) 協同総研編集委員会/JC総研報告会 |
| 03/07(土) 協同総研第3回理事会/協同総研「21世紀の協同組合運動」研究会 | 03/21(土・祝) 埼玉協同・連帯ネットワーク設立総会・記念フォーラム |
| | 03/23(月) 日本協同組合学会常任理事会 |
| | 03/25(水) 労協連理事会 |
| | 03/29(日) 東京生活困窮者シンポジウム |

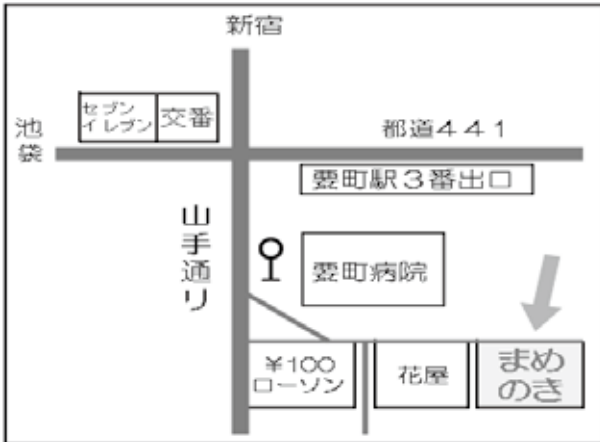
♪～自立支援センターまめの樹～♪

c a f e まめのき



インテリアなど細部にも気を配り、落ち着いた雰囲気のカフェです♪
こだわりのコーヒー、食事メニュー（美味しい!）をご用意しております。
皆様のお越しをお待ちしています!!

♪地図♪



メニュー まめのきブレンド300円
ナポリタン580円
まめのきサンド380円
あんみつ450円
etc...

OPEN 11:00~
(営業日、時間はお問い合わせください)
TEL: 03-5917-5155

またNPOまめの樹では...

テーブル起こし承ります!!

- ・会議の議事録に
- ・講演会の文章化に
- ・大事なお話の記録に...

NPOまめの樹ならではの...
一般の業者さんに比べて格安料金で承っております。

1時間の音声につき8000円です。
1時間に満たない場合でもお引き受けいたします。

インターネットの転送サービスを利用し、全国からご依頼をお引き受けします。
ぜひ、まめの樹にお気軽にお申し付け下さい!
電話またはメールでご連絡ください。お見積もりいたします。
納期は1~2週間です。お急ぎの場合はご相談ください。

障がいを持った仲間達と心を込めて作業させていただきます。
皆様からのご依頼を心よりお待ちしております。

NPO法人ワーカーズコープ

自立支援センターまめの樹

TEL 03-3973-8711 FAX 03-5917-5335

担当: 佐藤 安田

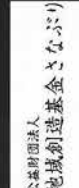
〒171-0021 東京都豊島区西池袋5-26-16 CHIBAビル5F

特別純米酒 笹ノ陽

達人五者のコラボレーションが生んだ奇跡の清酒

この清酒『笹ノ陽』は私達ワーカーズコープの東北復興支援の思いが形になったお酒です。私達は平成に二十三年七月より仙台に東北復興本部を置き、被災地域の方々共に様々な仕事おこしに取り組んできました。既に震災から三年、復興は未だ途上です。「これからは東北の魅力在全国で共有し、復興そのものの取り組みと支援を一層強力にすめたい。支援を忘れない。その上に東北の『美味しく楽しい』を全国の皆様にお伝えし、復興の取り組みの幅を大きく広げたい。」との思いから、二年掛けて東北ならではのお酒を作ることによって、そのことを表そうと考えました。『笹ノ陽』は、手作りでしかお酒を作らないことでも有名な宮城県銘酒造『一ノ蔵』が丹精込めて作り出しました。原料米は四十余年有機無農薬栽培にこだわり、昨年大日本農会の紫白綬有功賞を受賞された佐々木陽悦氏のご指導の下、私達が田植え稲刈りをしたササニシキを使用しております。ササニシキは酒米よりも粒が小ぶりで、精米が難しいそうです。この酒造りのアイディアは、大都市銀座で養蜂事業を軌道に乗せ、世界を驚かせた『銀座ミツバチプロジェクト』のご提案です。

そしてこのお酒の販売代金の一部は、宮城県仙台から東北の復興支援に資金的な応援をしている『公益財団法人 地域創造基金さなぶり』を通じて被災地支援に寄付されます。日常生活の中で「美味しく東北復興支援」が出来るようになっております。



『笹ノ陽』2本記念枡1個
セット価格¥5,000- (送料税込)

■代金お振込先

七十七銀行 二日町支店 普通預金 5546923
口座名 企業組合労働センター事業団
代表理事 藤田 徹

■お問合せ・お申込み先 (企)労働センター事業団 東北事業本部 前田

Tel 022-398-4975 Fax 022-398-4973 E-mail thkb@roukyou.gr.jp
ご注文は必ずメール、FAX でお願致します。

